



「今日が楽しく明日が待ち遠しい」学校を目指して

知恵を絞ってコロナに負けない5つの柱 ～はなれていても心は一つ～

土岐津小学校には右のような5つの柱があり、児童会の代表委員が中心となって活動を進めていますが、今年はコロナ対策があり、例年の活動はできません。

そこで、代表委員が中心となり、高学年の児童が知恵を絞って活動を一工夫！例えば、全校集会や学級で歌声を響かせる「心をそろえるいきいきうたごえ」活動の代わりに「ウエーンズデー ハッピー ミュージック」と題して、水曜日の給食時の放送で放送委員が選曲した音楽を流し、無言で食べなければならない給食の時間を豊かなものにしています。「あいさつ」はマスクをしているから声が聞きづらく表情も分かりにくいですが「目」で伝え合ったり、「そうじ」や「歯磨き」の活動は距離をおき、順番にやったり、交代でやったりして、譲り合う心や思いやる心を持って取り組んでいます。全員がそろえることは難しいですが「はなれていても心は一つ」という気持ちで土岐津小学校を「今日が楽しく明日が待ち遠しい」学校になるよう、みんなで励んでいます。



夢は女子プロ野球選手

あさのももみ
土岐津小学校6年 浅野桃夢さん

グラウンドで大きな声を出しながら硬式野球の練習に励む小学生の子どもたち。その中に1人、真剣な表情で投球をする女の子の姿がありました。土岐津小学校6年生の浅野桃夢さんです。昨年8月、「ボーイズリーグ第50回記念日本少年野球選手権大会」に春日井ボーイズ小学部チームとしてベンチ入りし、初の全国大会出場を経験しました。

硬式野球をやっている8歳上の兄に憧れ、小学1年生の時に春日井ボーイズ小学部へ入部。負けず嫌いな性格とコツコツ重ねた努力で、現在はピッチャーとして活躍。最近では、投手である兄にボールを受けてもらいながら、自慢の速球に加え、コントロールに磨きをかけています。

今年8月に出場した全国大会の予選では、ピンチの場面でも仲間の声援を胸に力投し、得点を許しませんでした。野球の魅力を「みんなで一つになって、元気よく、楽しくやることが野球のおもしろいところ」と語り、来年2月の全国大会予選での勝利を次の目標に掲げます。女子プロ野球選手になる夢に向かって頑張っています。